

五 第九類物品中裝置濟ノモノハ特ニ裝置ニ異狀ナキヤ否ヤヲ調査スヘシ

第六條 検査調書々式七ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

七ノ二 物品出納内譯簿及回送拂出整理簿ト現在品ト照合ノ結果左ノ不符合ヲ認ム

類別	産地區分	包裝區分	等級	區分		記帳高		記事
				回送中	在庫	回送中	在庫	
第四類	何々 何々	何斤入何	何等	包數 量目	包數 量目			記帳高ト現在高ト差違アルハ何何ノ爲ナリ
	、、	、、	、					、、

同上書式備考ヲ左ノ通改ム

第五類物品ノ品名ハ物品出納簿ノ口座區分ニ依ルヘシ

検査上發見シタル不符合又ハ物品ノ毀損惡變等ハ前例ニ依リ總テ記載スヘシ

物品出納簿整理手續中手數省略ノ爲メ左ノ通改正シタリ

專賣局長官達丙第一九六六號 (明治四十三年四月十四日)

明治四十一年三月丙第二二六四號達物品出納簿整理手續中第十一類物品出納簿ノ説明中事務用品以下大別シ迄ヲ削除ス

第六節 官有財産及固定資本

鹽專賣法ヲ實施スルニ先チ廳舎及倉庫ノ設備ヲ要セシヲ以テ應急ノ設備トシテ民有建物ヲ借上ケ之ヲ充用シ其ノ得難キ場所又ハ不足スル箇所ハ一時假建築ヲ爲スノ方針ヲ採リタリ而シテ之カ取扱ハ鹽務官署成立マテハ稅務監督局ヲシテ之ニ當ラシムルコトトシ土地建物ノ借入購入及建物ノ補修取扱手續ヲ定メタリ

大藏大臣達臨第一二七號（明治三十八年一月二十一日）

△稅務監督局

鹽專賣ニ要スル土地、建物ノ借入、購入及建物ノ補修ハ別紙ノ手續ニ依リ其ノ局ニ於テ取扱フヘシ

鹽專賣ニ要スル土地、建物ノ借入、購入及補修手續

第一條 鹽專賣ニ要スル土地、建物ノ借入、購入及建物ノ補修ハ仕拂豫算ノ委任ヲ受ケタル都度成ルヘク速ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二條 假設廳舍倉庫ニ充ツヘキ建物ノ借入契約書ハ別紙第一號書式ニ準據調製シ契約締結ノ上ハ直ニ契約書寫（圖面寫）ヲ主稅局ニ送付スヘシ

第三條 前條ノ建物借入當初ニ於テ國費ヲ以テ補修ヲ要スルトキハ其ノ所要額ヲ調査シ圖面及仕様概說書ヲ添附シ豫算額ヲ請求スヘシ

第四條 假建築敷地ノ借入契約書ハ別紙第二號書式ニ準據調製シ契約締結ノ上ハ直ニ契約書寫（圖面寫）ヲ主稅局ニ送付スヘシ

第五條 本建築敷地ノ購入契約書ハ別紙第三號書式ニ準據調製シ契約締結ノ上ハ直ニ契約書寫（圖面寫）ヲ添附シ該地種ノ組替ヲ稟請スヘシ但契約ニ先チ該地ハ左ノ各號ニ該當セサルモノナルコトヲ調査スルヲ要ス

一 地上權、永小作權、地役權、質權及抵當權ノ設定アルモノ

二 賃借權ノ登記アルモノ

三 條件ノ附帶アルモノ

第六條 購入地域内ニ道路溝渠ノ官有ニ屬スルモノアルトキハ當該地方廳ニ對シ本省用地ニ

編入差支ノ有無ヲ協議シ其ノ協議濟ノ書類及道路溝渠ノ長幅間數坪數取調書ヲ前條稟請書

ニ添附スヘシ

第七條 分筆ヲ要スル土地ハ購入契約前所有者ヲシテ分裂ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第八條 第五條ノ稟請ニ對スル指令ヲ受ケタルトキハ登記義務者ノ承諾書ヲ徴シ不動産登記

法第三十一條ニ依リ遲滞ナク其ノ登記ヲ囑託スヘシ

第九條 土地購入代價ハ前條ニ依リ登記囑託ノ手續ヲ了シタル後遲滞ナク支拂ノ手續ヲ爲ス

ヘシ

第十條 賣買代價及賃借料月額ニシテ厘位ノ端數存スルトキハ賣主又ハ貸主ニ交渉シ厘位切

捨ノ上錢位ニ止メシムヘシ

第十一條 賣買及賃借契約ニ際シ相手方ノ能力又ハ代理權限等ヲ注意スヘシ

第十二條 購入スヘキ土地ニシテ本手續ニ規定シタルモノノ外ハ明治三十一年達第六〇〇號

官有財産取扱規程ニ依ルヘシ

第一號書式

建物賃借契約書

何府縣郡市町村大字番地何坪地内

一木造瓦葺平家(二階建)

此建坪何坪(外階上何坪)

一土藏(何々)

此建坪何坪

一木造板葺便所(何々)

此建坪何坪

外二

門

板塀

一棟

一棟

一棟

何箇所

何箇

何々

以上建物及敷地別紙圖面ノ通

右建物ヲ明治三十八年何月何日ヨリ鹽專賣廳舎(貯鹽倉庫)用トシテ左ノ條項ニ依リ貸借契約ヲ締結ス

一 賃借料ハ一箇月金何程トシ毎翌月初旬ニ於テ支拂フモノトス但シ一箇月ニ滿タサルトキハ貸借日數ニ依リ日割計算(賃借料ニテ貸借日數ヲ乘シ其ノ月止ヲ爲スモノトス)

二 借主ヨリ建物、附屬工作物ノ修繕(及疊建具其ノ他一切ノ修理)費共 井戸、下水道ノ疏浚並樹木ノ刈込(等)ヲ要求シタルトキハ貸主ハ遲滞ナク修繕シ其ノ費用ハ貸主ニ於テ負擔スルモノトス

三 貸借當初ニ於テ補修ノ必要アルトキハ借主ノ負擔ヲ以テ廳舎(倉庫)ニ適當ナル修繕又ハ補足工事ヲ加フルモ貸主ニ於テ異議ヲ述ヘサルモノトス(主
ニ於テ此費用ノ負擔
ヲ承諾セハ本項削除)

四 構内ノ樹木ヨリ生スル收益(及下肥)ハ貸主ニ於テ取得スルモノトス(構内ニ樹木等存在セ
サルトキハ本項削除)

五 貸借期間ハ明治三十八年三月三十一日迄トス

六 貸借期間内ト雖モ借主ハ何時ニテモ解約ヲ爲シ現狀ノ儘還付スルモ貸主ニ於テ異議ヲ述ヘサルモノトス

七 貸借期間滿了日ニ於テ借主ヨリ解約ノ通知ヲ爲ササルトキハ此契約條項ニ依リ爾後一箇年宛貸借ヲ繼續スルモノトス

右契約ノ成立ヲ證スル爲メ本書ニ通ヲ作り雙方記名捺印ノ上各一通ヲ領置ス

明治三十八年 月 日

住 所

貸主 氏 名

借主 氏 名

備考

一 二人以上ノ共有ニ係ルトキハ契約條項中ニ何某ヲ以テ貸主總代トシ此契約ノ權利ヲ行使シ義務ヲ履行セシムル一項ヲ加ヘ各住所氏名ヲ連記捺印セシムルモノトス

二 圖面ハ敷地ノ位置、方向、面積及建物ノ形狀、坪數等ヲ記載シ層階ノ部分ハ掛紙ヲ爲シ契印スルモノトス

第二號書式

土地貸借契約書

何府縣郡市町村大字々地番

一郡村宅地(何々)(何程ノ内)何段何畝歩(何坪)

右土地ヲ明治三十八年何月何日ヨリ鹽專賣廳舎(貯鹽倉庫)建築敷地トシテ左ノ條項ニ依リ貸借契約ヲ締結ス

一 賃借料ハ一箇月金何程トシ毎翌月初旬ニ於テ支拂フモノトス但シ一箇月ニ滿タサルトキハ貸借日數ニ依リ日割計算(賃借料ニテ貸借日數ヲ乘シ其ノ月止ヲ爲スモノトス)

二 地上ノ存在物ハ貸主ニ於テ自己ノ負擔ヲ以テ此契約成立後何日間(又ハ何月何日迄)ニ悉皆取除クヘキモノトス(取除クヘキ存在物ナキト承諾セザルト
キハ本
項削除)

三 貸主ハ自己ノ負擔ヲ以テ此ノ契約成立後何日間(又ハ何月何日迄)ニ現地盤ヨリ何尺ノ盛土(鋤取)ヲ爲スモノトス(盛土又ハ鋤取ヲ要セサルトキ又ハ項(キハ本)除)

四 貸借期間ハ明治三十八年三月三十一日迄トス

五 貸借期間内ト雖モ借主ハ何時ニテモ建物ヲ取除キタル土地ノ現状ヲ以テ解約ヲ爲スモ貸主ニ於テ異議ヲ述ヘサルモノトス

六 貸借期間満了日ニ於テ借主ヨリ解約ノ通知ヲ爲ササルトキハ此契約條項ニ依リ爾後一箇年宛貸借ヲ繼續スルモノトス

右契約ノ成立ヲ證スル爲メ本書ニ通テ作リ雙方記名捺印ノ上各一通ヲ領置ス

明治三十八年 月 日

住 所

貸主 氏 名

借主 稅務監督局長 名

備考

一 二人以上ノ共有ニ係ルトキハ契約條項中ニ何某ヲ以テ貸主總代トシ此契約ノ權利ヲ行使シ義務ヲ履行セシムル一項ヲ加ヘ各住所氏名ヲ連記捺印セシムルモノトス

二 圖面ハ土地ノ位置、方向、面積ヲ記載スルモノトス

三 本書借主ノ領置スヘキ一通ニハ貸主ヲシテ收入印紙ヲ貼用消印セシムルモノトス

第三號書式

土地賣買契約書

何府縣都市町村大字字地番

一郡村宅地(何々)何段何畝歩

此代價金何程

同字地番

一畑(何々)何段何畝歩

此代價金何程

合段別何段何畝歩

此代價金何程

右土地ヲ前記ノ代價ヲ以テ所有者何某ト買主大藏省ト左ノ條項ニ依リ賣買契約ヲ締結ス

一 前記ノ土地ハ賣主何某ノ所有ナルコト確實ニシテ又第三者ニ對シ何等ノ關係アルコトナシ

二 地上ノ存在物ハ賣主ニ於テ自己ノ負擔ヲ以テ此契約成立後何日間(又ハ何月何日迄)ニ悉皆取除クヘキモノトス(地上ニ存在物ナキトキ又ハ存在物)

三 買主ハ此契約成立後何日間(又ハ何月何日迄)ニ地種組替及登記ノ手續ヲ了シ賣主ニ對シ前記ノ代價ヲ支拂フモノトス

四 土地受渡前天災等ノ爲メ地形ヲ變シタルトキハ買主ハ本契約ヲ解除スルコトアルヘシ此場合ニ於テ賣主ハ買主ニ對シ損害賠償等ノ請求ヲナササル

ハ勿論其ノ他何等ノ異議ヲ述ヘサルモノトス

但別紙圖面ノ通

(同 上)

(土地邊(帳面)段別又ハ坪數)

右契約ノ成立ヲ證スル爲メ本書ニ通ヲ作り雙方記名捺印ノ上各一通ヲ領置ス
明治三十八年 月 日

住所

土地所有者 氏名

買受契約擔任者

稅務監督局長 氏名

備考

- 一 圖面ハ土地ノ位置、方向、每筆ノ區域、面積ヲ記載シ、尙周圍ノ地形ヲ略記スルモノトス
- 二 本書買主ノ領置スヘキ一通ニハ賣主ヲシテ收入印紙ヲ貼用消印セシムルモノトス

明治三十八年四月一日ヨリ鹽務局開廳ニ付明治三十八年一月二十一日付東京外關係稅務監督局ニ達シ置キタル鹽專賣ニ要スル土地建物ノ借入、購入及建物ノ補修手續ヲ同年四月各鹽務局ニ通達シタリ

土地建物借入方ニ關シ左ノ通達セラレタリ
大藏大臣達臨第一二二三二號 (明治三十八年四月一日)

其局及出張所用土地建物ノ借入變更又ハ借料ノ増額ヲ要スルトキハ契約書案及圖面ヲ添附シ豫メ認可ヲ受クヘシ

前項廳舍移轉ニ係ルモノハ移轉十日以前ニ其ノ年月日ヲ報告スヘシ
官有財産取扱規程中改正セラレ民有地ノ買收ニ係ルモノハ地種組替ノ手續ニ先チ登記囑託ヲ要スルコトトナリタル結果鹽專賣ニ要スル土地建物ノ借入、購入及補修手續中之ヲ改正シ左ノ通達セラレタリ

大藏大臣達臨第三七四號 (明治三十九年二月三日)

△鹽務局

鹽專賣ニ要スル土地建物ノ借入、購入及補修手續中左ノ通改正ス

一第八條中第五條ノ稟請ニ對スル指令ヲ受ケタルトキハ「トアルヲ」土地購入ノ契約ヲ締結シタルトキハ「ト」改メ左ノ一項ヲ加フ

前項登記濟ノ上ハ其ノ旨申報スヘシ

一第九條ニ左ノ但書ヲ加フ

但賣主ニ於テ自己ノ負擔ヲ以テ取除クヘキ存在物アルトキハ之カ除去ヲ了シタル後其ノ支拂ヲ爲スコトヲ要ス

一第三號書式第三項中買主ハ此契約成立後何日間又ハ何月何日迄ニ地種組替及登記ノ手續ヲ了シ「ト」アルヲ買主ハ登記ノ手續ヲ了シ且ツ前項ノ存在物除去ヲ完成シ「タル後」ト改ム

官制改正ノ結果大藏省所管官有財産取扱規程中左ノ通改正セラレタリ
大藏大臣達往第一四八〇二號（明治四十年十月一日）

大藏省所管官有財産取扱規程中左ノ通改正ス

第四條中「煙草專賣局」ヲ「專賣局」ニ改メ「樟腦事務局」及「鹽務局」ヲ削ル

專賣局所屬官有財産ニ屬スル物件ノ賣買及交換ニ際シテハ其ノ時々契約擔任者ヲ定メ認可ヲ經ルコトニ取扱來リタルモ事務ノ進捗ヲ圖ル爲爾今專賣局長官限り指定ノコトニ明治四十年十二月豫メ認可ヲ經タリ

官有財産取扱規程改正セラレタル結果整理手續ヲ左ノ通改正セリ

專賣局長官達丙第五九號（明治四十一年一月十三日）

明治三十三年達甲第二二四號專賣局所屬官有財産整理手續左ノ通改正ス

專賣局所屬官有財産整理手續

第一條 官有財産管理規則ニ依リ取扱フヘキ專賣局所屬官有財産ハ左ノ區別ニ從ヒ此ノ手續

ニ依リ整理スヘシ

一 土地及其附屬物

二 營造物及其ノ附屬物

三 家屋及其ノ附屬物

四 船舶及其ノ附屬物

第二條 專賣局計理部長ハ此ノ手續ニ依リ專賣局直屬ノ官有財産ヲ整理スヘシ

第三條 此ノ手續ニ於テ支部局ト稱スルハ收納所製造所販賣所專賣局分工場試験場ヲ云フ

第四條 支部局長ハ其ノ所屬官有財産ノ保管及取締ヲ爲スヘシ

第五條 支部局長ハ常ニ其ノ所屬官有財産ノ現況ヲ視察シ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一 官有財産ノ使用ハ適當ナルヤ否ヤ

二 官有財産ニ損害ヲ生スヘキ事情ナキヤ否ヤ

三 官有財産ノ毀損又ハ荒廢ニ屬スヘキモノナキヤ否ヤ

四 土地ノ疆界ニ異狀ナキヤ否ヤ

五 其ノ他官有財産ノ保管又ハ取締上必要ノ事項アルトキハ其ノ事項

第六條 支部局長ハ第一條ニ掲ケタル區別ニ從ヒ第一號書式ノ官有財産整理簿ヲ備ヘ之ヲ整

理スヘシ

前項官有財産整理簿ニ登記シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ時々之ヲ更正スヘシ

第七條 支部局長ハ土地建物ハ第二號及第三號ノ調製標準ニ依リ船舶ハ現形ノ五十分ノ一ニ

縮寫シタル圖面ヲ備フヘシ

前項ノ圖面ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ時々之ヲ更正スヘシ

第八條 官有財産ノ價格ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ定ムヘシ

一 買收ニ係ルモノハ其ノ買收價格

二 新築ニ係ルモノハ其ノ建築費

三 交換ニ依リテ得タルモノハ其評價々格

四 所管轉換ニ依リテ得タルモノハ其ノ目錄價格

五 官有地ヲ編入シタルモノ又ハ買收代價若クハ建築費其ノ他價格ノ不明ナルモノハ二人

以上ノ評價人ヲ定メ各別ニ評定ヒシ平均價格

第九條 官有地疆界線上界標ノ設ケナキモノハ成ルヘク不朽ノ物質ヲ以テ之ヲ建設スヘシ但

實際建設ノ必要ナキモノハ此ノ限ニアラス

官有地ノ疆界明確ナラサルモノハ總テ地方廳ニ協議シ地方官及他ノ關係地主立會ノ上確定

スヘシ

第十條 土地ノ使用ヲ爲サントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ專賣局長官ノ指揮ヲ受クヘシ

一 所用ノ目的及其ノ事由

二 所在地名地番

三 土地ノ種目

四 土地ノ面積

五 第二號調製標準ニ基キ調製シタル地圖二通

六 民有地買收ニ係ルモノハ其ノ契約書ノ謄本二通

七 官有地ノ使用ハ當該府縣知事ニ協議濟ノ書類

第十一條 使用ノ土地不用ニ歸シタルトキハ左ノ事項ヲ具シ專賣局長官ノ指揮ヲ受クヘシ

一 不用ニ歸シタル事由

二 前條第二號第四號及第五號ニ掲ケタル事項

第十二條 支部局ニ於テ水面ヲ埋立テ使用セントスルトキハ第十條第一號乃至第五號及第七號ニ掲ケタル事項ヲ具シ專賣局長官ノ指揮ヲ受クヘシ

第十三條 使用ノ土地ヲ以テ民有地ト交換セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ專賣局長官ノ指揮ヲ受クヘシ

一 交換ヲ要スル事由

二 第十條第二號乃至第五號ニ掲ケタル事項

三 所有者ニ協議濟ノ書類

四 兩地ニ對スル評價書類

前項第四號ノ評價ハ兩地トモ地方廳ニ於テ定メタル評價人ニ評價ヲ囑託スヘシ

第十四條 他廳ニ屬スル官有財産ヲ受領シ又ハ所屬ノ財産ヲ他廳ノ所管ニ移サントスルトキ

ハ左ノ事項ヲ具シ專賣局長官ノ指揮ヲ受クヘシ

一 所管轉換ヲ要スル事由

二 所在地名及地番

三 名稱、種類、番號

四 數量、價格

五 圖面ヲ要スルモノハ第七條第一項ニ依リ調製シタル圖面ニ通

第十五條 大藏省所管ノ他部局ト專賣局所屬ノ支部局間ニ於テ官有財産ノ使用ヲ移サントスルトキハ前條各號ノ事項ヲ具シ專賣局長官ノ指揮ヲ受クヘシ

第十六條 第十條乃至第十五條ニ掲ケタル事項ニ對シ專賣局長官ヨリ其ノ受授ノ指揮ヲ得タ

ルトキハ支部局長ハ左ノ手續ニ依リ之カ受授ヲ爲スヘシ但民有地ノ買收ニ係ルモノハ第十七條ニ依リ登記囑託ノ手續ヲ了シタル後直ニ其ノ受授ヲ爲スコトヲ得

一 受領ニ係ルモノハ其ノ引渡證ヲ領收スルコト

二 引渡ニ係ルモノハ之ニ對スル受領證ヲ領收スルコト

第十七條 民有地ノ買收ニ係ルモノハ契約締結後不動産登記法ニ依リ直ニ其ノ登記ヲ囑託スヘシ

第十八條 建物ノ新築、改築、増築補足、購買又ハ船舶ノ新造及購買ノ契約ヲ締結シタルトキハ其

ノ名稱、種類、數量、價格及著手成功又ハ受授ノ年月日ヲ記シ直ニ專賣局長官ニ申報スヘシ

第十九條 左ニ掲ケタル物件ハ購買又ハ交換スルコトヲ得ス

一 質權、抵當權、地上權、地役權等ノ如キ物權ノ設定アルモノ

二 其ノ他條件ノ附帶スルモノ

第二十條 支部局所屬ノ建物不用ノ爲一時之ヲ貸付セントシ又ハ公益ノ爲府縣郡市町村若ク

ハ公共組合ニ貸付セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ契約書案ヲ添へ專賣局長官ノ指揮ヲ受クヘシ但公益ノ爲府縣郡市町村若クハ公共組合ニ貸付スルトキハ貸付料ヲ徴收セサルコトヲ得

第二十一條 不用ニ屬スル官有財産ヲ賣却セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ契約書案及第十

三號書式ニ依リ調査シタル賣却豫定價格調書(嚴封)ヲ添へ專賣局長官ノ指揮ヲ受クヘシ

第二十二條 前二條ノ契約書案ニハ左ノ事項ヲ掲クヘシ

一 第十四條第二號第三號ニ掲ケタル事項

二 數量

三 契約保證金

四 貸付料又ハ拂下代金ノ納付期限

五 貸付期限又ハ賣却財産引渡期限

六 貸付財産ニ對スル使用ノ目的及其ノ制限

七 違約ノ場合ニ對スル處分ノ條件

八 貸付財産ノ修理其ノ他費用ヲ負擔スル方法

九 其ノ他貸付又ハ賣却ニ關シ必要ノ條件アルトキハ其ノ條件

第二十三條 官有財産ノ貸付料及賣却代價ハ官有財産管理規則第四條及第六條ニ依リ納付セ

シムヘシ賣却ニ係ル財産ハ其ノ代價納付済ノ後ニアラサレハ之カ引渡ヲナスコトヲ得ス

第二十四條 建物ハ總テ番號ヲ附シ管理ニ便ナラシムヘシ

第二十五條 天災又ハ其ノ他ノ災害ニ因リ官有財産ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事實ヲ

詳悉シ直ニ專賣局長官ニ報告スヘシ

第二十六條 官有財産ノ現在目錄ハ第九號乃至第十二號報告例ニ依リ十箇年毎ニ其ノ年三月

三十一日ノ現在ヲ調査シ翌年度五月十五日迄ニ專賣局長官ニ報告スヘシ

前項ノ期間ハ官有財産管理規則施行ノ日ヨリ起算ス

第二十七條 官有財産ノ増減異動ハ左ノ四期ニ分チ第四號乃至第七號報告例ニ依リ之ヲ調査

シ翌月七日迄ニ專賣局長官ニ報告スヘシ

第一期 自四月

第二期 自七月
至九月

第三期

自十月
至十二月

第四期

自一月
至三月

右ノ期間ニ異動ナキモノハ該期限内ニ其ノ旨報告スヘシ

第二十八條 前二條ノ報告書ニハ第七條ニ依リ調製シタル圖面二通ヲ添附スヘシ但地圖及建

物圖ハ其ノ一部ノ異動ニ係ルモノハ異動アル部分ヲ調製標準ニ依リ其ノ他ハ朱線ヲ以テ位

置形状ヲ認メ得ルヲ程度トシ調製スルコトヲ得

第二十九條 第一條ニ掲ケタル官有財産中營造物及其ノ附屬物ヲ家屋及其ノ附屬物ニ組換ヘ

家屋及其ノ附屬物ヲ營造物及其ノ附屬物ニ組換又ハ甲地ニ在ル物件ヲ乙地ニ移轉シ若クハ

主タル物件ト附屬物トノ組換ヲ爲シタルトキハ第二十七條ノ報告例ニ依ルヘシ

第三十條 官有財産ノ名稱又ハ建物ノ番號ヲ變更シタルトキハ第八號報告例ニ依リ之ヲ調

査シ建物ノ内部ニ變更ヲ加ヘ既ニ報告シタル建物圖ニ變更ヲ生シタルトキハ第三號調製標

準ニ依リ更正圖二通ヲ調製シ第二十七條ノ報告書ニ添附シテ報告スヘシ

第三十一條 建物ハ官舎貸渡規則ニ依リ專賣局所屬官吏ニ貸付スル場合ヲ除クノ外其ノ名義

ノ如何ヲ問ハス官吏又ハ其ノ他ノ者ヲシテ之ニ住居セシムルコトヲ得ス若シ官有財産ノ保

管又ハ取締上ニ於テ監守人ヲ置クノ必要アルトキハ其ノ事由ヲ詳悉シ專賣局長官ノ指揮ヲ

受クヘシ

第三十二條 官舎ハ官舎貸渡規則ニ依リ專賣局所屬官吏ニ貸付スルノ外他廳ノ官吏ニ貸付ス

ルコトヲ得ス

第三十三條 官舎ヲ貸付シタルトキハ左ノ事項ヲ記シ專賣局長官ニ報告スヘシ

一 官舎ノ番號及坪數

二 一箇月分ノ貸付料

三 拜借人ノ官氏名及其ノ家族ノ氏名

四 貸付ノ年月日

第三十四條 貸付ノ官舎ハ拜借人ノ家族ノ外他人ヲ同居セシムルコトヲ得ス

第三十五條 貸付ノ官舎返納ノ場合ニ於テハ拜借人立會ノ上其ノ現場ヲ検査シ異狀ナキヲ認メタル後之ヲ受取ルヘシ

前項検査ノ際拜借人ノ不注意怠慢等ニ因リ官舎ニ毀損アルカ又ハ其ノ附屬物ニ亡失毀損アルトキハ之カ辨償ヲ爲サシムヘシ

第三十六條 前條ノ手續ニ依リ返納ノ官舎ヲ受領シタルトキハ其ノ年月日該官舎ノ番號及返納者ノ官氏名ヲ記シ專賣局長官ニ報告スヘシ

第三十七條 官舎貸渡規則第三條ニ依リ貸下料ヲ改正セントスルトキハ二人以上ノ評價ヲ爲サシメ其ノ評價ノ平均ヲ以テ元金ト定メ年八分ノ割合ヲ以テ一住居毎ニ其ノ貸下料ヲ査定シ年額ト月額トヲ區別シ評價書類ヲ添へ專賣局長官ノ指揮ヲ受クヘシ

第三十八條 官舎ヲ貸下ケタルトキ又ハ貸付ノ官舎ヲ返納シタルトキハ支部局長ニ於テ明治十九年內務省令第十九號第六條及第七條ニ依リ市役所又ハ町村役場ニ届出ノ手續ヲ爲スヘシ

(用紙美濃紙)

第一號書式

官 有 財 產 整 理 簿

何々收納(又ハ製造)所(場)

斜線

棹色

薄紅色

薄墨色

薄藍色

綠色ノ線

綠色ノ斷絶線

棹色ノ斷絶線

薄藍色ノ斷絶線

棹色ノ線

薄墨色ノ線

薄墨色ノ平行線

薄紅色ノ線

一溝又ハ下水(常ニ水ア
ルモノ) 墨ニテ其ノ兩邊ヲ畫キ藍色ヲ以テ色取リタルモノ

一溝又ハ下水(常ニ水ナ
キモノ) 墨ニテ其ノ兩邊ヲ畫キ藍色ノ線ヲ中間ニ加ヘタルモノ

一溝又ハ下水(常ニ水アリ
テ) 墨ニテ其ノ兩邊ヲ畫キ棹色ヲ以テ色取リ更ニ中間ニ藍色ノ虛

線ヲ加ヘタルモノ但シ常ニ水ナキモノハ中間ノ虛線ヲ除ク

一溝又ハ下水(常ニ水アリ
テ) 墨ニテ其ノ兩邊ヲ畫キ薄墨色ヲ以テ色取リ更ニ中間ニ藍色ノ

虛線ヲ加ヘタルモノ但シ常ニ水ナキモノハ前例但書ニ倣フ

一木製門

一煉瓦門

一石製門

一鐵製門

一生垣

一竹垣

一木柵

一鐵柵

一板塀

一土塀

一石塀

一煉瓦塀

一溝又ハ下水(常ニ水ア
ルモノ)

一溝又ハ下水(常ニ水ナ
キモノ)

一溝又ハ下水(常ニ水アリ
テ)

一溝又ハ下水(常ニ水アリ
テ)

一 木製埋下水

樺色ノ虚線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ薄墨色ノ虚線ヲ加ヘタ
ルモノ

一 煉瓦埋下水

薄紅色ノ虚線ニテ其外徑ヲ示シ中間ニ薄墨色ノ虚線ヲ加ヘタ
ルモノ

一 石製埋下水

薄墨色ノ虚線ニテ其外徑ヲ示シ中間ニ薄墨色ノ虚線ヲ加ヘタ
ルモノ

一 土管埋下水

茶色ノ虚線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ薄墨色ノ虚線ヲ加ヘタ
ルモノ

一 木製水道管

樺色ノ虚線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ藍色ノ虚線ヲ加ヘタ
ルモノ

一 鐵製水道管

薄藍色ノ虚線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ藍色ノ虚線ヲ加ヘタ
ルモノ

一 井(桶側)

樺色ニテ其ノ周邊ヲ畫キ藍色ヲ以テ色取りタルモノ

一 井(石又ハ
漆喰側)

薄墨ニテ其ノ周邊ヲ畫キ藍色ヲ以テ色取りタルモノ

一 井(水道又
ハ吹井)

以上二種ノ中央ニ薄墨色ノ小圈ヲ畫キタルモノ

一 芝生

薄綠色(縁ナシ)

一 樹木

大小ニ從テ其ノ形ヲ畫キ綠色ヲ加ヘテ影ヲ付ケタルモノ

一 池

墨ニテ其ノ周邊ヲ畫キ薄藍色ヲ以テ色取りタルモノ

一 堤

墨ニテ其ノ底邊及頂邊ヲ畫キ影ヲ付ケ薄墨色ヲ以テ色取りタ
ルモノ

一庭石其ノ他石垣敷石類

一電燈線

一電燈

一瓦斯管

一瓦斯燈

一露燈

一電線支柱

一レール

一煉瓦製煙突

一木橋

一石橋

一鐵橋

一土橋

一木製地上疆界標

一石製地上疆界標

一木製地中疆界標

墨ニテ其ノ外邊ヲ畫キ薄墨色ヲ以テ色取リタルモノ

黃色ヲ以テ支柱ト電燈線トヲ畫ケルモノ但シ支柱ハ其位置ニ

從フ

徑五厘以下ノ黃色「火」字ノ隸書

朱色虛線ニテ其ノ外徑ヲ示シ中間ニ朱色ノ虛線ヲ加ヘタルモノ

徑五厘以下ノ朱色「火」字ノ隸書

徑五厘以下ノ薄紅色「火」字ノ隸書

墨ヲ以テ支柱ト電線トヲ畫ケルモノ但シ支柱ハ其ノ位置ニ從

軌距ノ廣狹ニ應シ薄藍色ノ平行線

大小形狀ニ從ヒ墨ニテ周邊ヲ畫キ其周邊ニ薄紅色ヲ加ヘ内部

ヲ墨色ニテ色取リタルモノ

樺色

薄墨色

薄藍色

薄墨色ヲ以テ其ノ外邊ヲ色取リタルモノ

徑五厘以下ノ樺色斜方十字形

徑五厘以下ノ薄墨色斜方十字形

徑五厘以下ノ樺色斜方虛線十字形

一 石製地中疆界標 徑五厘以下ノ薄墨色斜方虛線十字形

一 官用地疆界線 朱線

一 水流ノ方向 墨ニテ箭形ヲ畫キ其ノ方向ヲ示スヘシ

第五條 前條ニ記號ナキモノト雖トモ若シ緊要ナルモノアルトキハ適宜記號ヲ設ケ之ヲ圖上

ニ表示シ其ノ側ニ其ノ名ヲ附記スヘシ

第六條 地圖ニハ左ノ事項ヲ附記スヘシ

一 府縣國名郡市區町村名字名及地番

二 使用名(何々數地ト)
記スヘシ

三 實測面積

四 官用地周圍ノ間尺

五 測量ノ年月日

六 測量ノ方法器械ノ種類

七 測量ニ使用セシ尺ノ單位及之ヲ間數ニ改算セル數率

八 測量者及製圖者ノ官氏名(官吏ニアラサルモノハ其ノ族籍氏名)

第七條 實測面積ハ總テ坪數ヲ以テ計算シ才以下ノ端數ハ算入ヲ要セス

第八條 地圖ニハ測量ノ當時其ノ地ニ於ケル磁針ノ偏差ヲ指示スヘシ

第九條 地圖ニハ其ノ疆界ヲ明確ナラシムル爲疆界標ノ位置ヲ表示シ其ノ近傍ニ於テ天然若

クハ人造ノ固定物アルモノハ(其ノ物質名
稱ヲ記ス)該疆界標ト固定物トノ距離方角ヲ記載シ他日ノ參證

ニ供スヘシ

第十條 地圖ニハ周邊ノ地形即チ山岳丘陵、森林、原野、河海、湖沼、池澤、溝渠、堤塘、道路、市街、村落、田畑

橋梁其ノ他神社佛閣等ノ如キ著シキモノハ其ノ概略ヲ模寫シ名稱地名ヲ掲クヘシ

第十一條 圖上ノ建物ニハ總テ其ノ番號ヲ付シ第三號標準ニ依リ調製シタル建物明細圖及官有財産簿ニ對照セシムヘシ

第十二條 地圖數葉アルモノハ圖面右側ノ上部ニ順次番號(地圖面何號)ヲ朱記スヘシ

第十三條 地圖ニ記載スル文字ハ總テ楷書ヲ用ヒ北ヨリ南ニ向ケ記載スヘシ但シ地面周圍ノ間尺ノ如キ實際一定ノ方向ニ記載シ難キモノハ此限ニ在ラス

第十四條 測量原簿又ハ測量原圖ハ他日ノ參考ニ供スル爲地圖ニ附屬セシムヘシ

第十五條 製圖用紙ハ總テ礬水引美濃紙ヲ用フヘシ

第三號

建物圖調製標準

第一條 建物ノ製圖ハ總テ二百分ノ一即チ六尺ニ付三分ノ縮尺トス

第二條 層階ノ部分ハ掛紙(貼附ノ箇所ニハ主任官吏ノ契印ヲ要ス)ニ畫クヘシ

第三條 建物ハ總テ其ノ周圍ノ間尺ヲ記入スヘシ

第四條 建物ハ各間室毎ニ其坪數ヲ記入スヘシ

第五條 建物ハ總テ其番號ヲ記入シ地圖建物ノ番號ニ對照セシムヘシ

前項建物番號ノ外官舎又ハ倉庫ノ如キ別ニ番號アルモノハ各々其番號ヲ朱記スヘシ

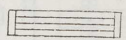
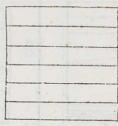
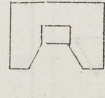
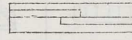
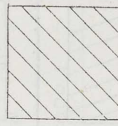
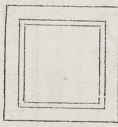

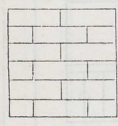
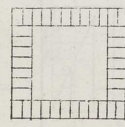
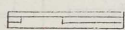
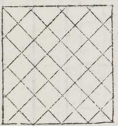
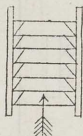
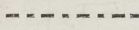

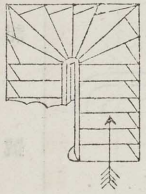
第六條 建物圖ハ建物番號ノ順次ニ從ヒ地圖一葉毎ニ之ヲ編製シ其右側ノ上部ニ(地圖面何號

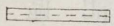
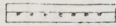
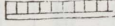
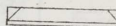
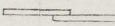
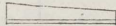
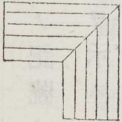
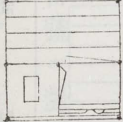
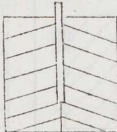
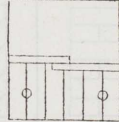
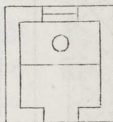

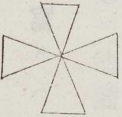


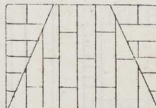
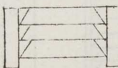
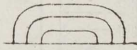
附屬)ト朱記スヘシ

第七條 圖上ニ記載スル文字ハ總テ楷書ヲ用フヘシ

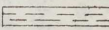
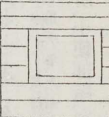

第八條 製圖用紙ハ總テ礬水引美濃紙ヲ用フヘシ

第九條 構造其ノ他ノ區別ハ凡ツ左ニ附記スル所ノ記號ニ從ヒ詳細其ノ形狀ヲ寫スヘシ若シ記號ナキモノハ適宜記號ヲ設ケ圖上ニ其ノ凡例ヲ示スヘシ

名稱	記號	名稱	記號	名稱	記號
上ケ下ケ窓		板張		ストーブ	
引違ヒ窓		筋違板張		石爐	
兩開キ窓		石敷		煉瓦爐	
引込ミ窓		四盤石敷		階子段	
室内仕切手摺		煉瓦敷		回り階子段	

連 子 窓	木 格 子 窓	鐵 棒 ト ウ 窓	突 上 ケ 窓	入 口 引 違	片 開 キ	名 稱
						記 號
角 椽 側	兩 便 所	板 流 シ	押 入、 上 ケ 板	西 洋 形 便 所	敲 キ	名 稱
						記 號
ジ ウ ー タ ン 敷	ラ セ ン 敷	ヅ ツ ク 敷	勾 配 石 敷	高 欄 付 階 段	階 段	名 稱
						記 號

第四號 (用紙美濃十三行罫紙)

無雙連子窓	
床上爐	
疊敷	

明治何年度第何期土地及附屬増減異動報告

所在地	地圖番號	土地	附屬物	數量	價格	年增減	記事
何府縣郡市區町村字名 番地	二	何々敷地		一、三〇〇、〇〇坪	二、六〇〇、〇〇〇	何何月年	官有地編入又ハ民有地買上
同			樹木	二〇本	—	同	土地ニ附屬シ編入又ハ買上
何府縣郡市區町村字名 △何地	△	△何々敷地		△五〇〇、〇〇〇	△一、〇〇〇、〇〇〇	何何月年	△不用又ハ使用移轉ニヨリ還付
△同			△樹木	△一〇本	△五〇〇、〇〇〇	△同	△土地ニ附屬シテ還付
△同			△同	△一五本	△七五〇、〇〇〇	△同	△立枯又ハ何番地へ移植
何府縣郡市區町村字名 番地	二	何々敷地		—	—		
同			樹木	五本	二五〇〇	何何月年	買上又ハ何番地ヨリ移植
同			庭石	八個	二〇〇〇〇	同	同
合計					△二、六三三、五〇〇 △一、〇〇三、五〇〇		

右及報告候也

年月日

專賣局長官宛

印ハ朱書ナリ

支部局長印

備考

- 一 土地ハ一敷地毎ニ之ヲ掲ケ反別ハ繼テ坪數ニ改算スヘシ
- 二 附屬物ノ欄内ニハ樹木及庭石ヲ掲クヘシ庭石ハ其ノ重ナルモノヲ掲ケ雜石ノ類ハ記載ヲ要セス
- 三 附屬物ノ價格土地價格ニ包含スルモノハ數量ノ欄内ニ其ノ員數ヲ記入シ價格欄内ニハ一線ヲ施スヘシ但記事ノ欄内ニ其ノ事由ヲ摘記スヘシ

- 四 數量ハ其ノ物件ノ種類ニ依リ本表ニ例示スル如ク其ノ右傍ニ坪本個等ノ文字ヲ附記スヘシ但シ坪數ハ勾位ニ止ム
- 五 評價々格ハ其ノ價格ノ右傍ニ×ノ記號ヲ附スヘシ以下諸表總テ之ニ倣フ
- 六 甲地ニアル附屬物ヲ乙地ニ移轉シ又ハ附屬物ノミヲ買上タルトキハ本表ノ例示ニ倣ヒ掲載スヘシ

第五號 (用紙美濃紙十三行罫紙)

明治何年度第何期營造物及附屬物増減異動報告

所在地	營造物	附屬物	建築物		價 格	年増 月減	記 事
			構造種類番號	數 量			
何府縣郡市區町村 字名番地	何々廳舍		何造 七(二階)	一五〇〇坪 〇〇〇〇	三五〇〇円 〇〇〇〇	何何 月年	何々ニ付新築
同	何々倉庫 <small>自第何番 至第何番</small>		何造 八	五〇〇〇〇	一八〇〇〇 〇〇〇〇	何何 月年	何々
同	何々		何造 三	三〇〇〇〇	五七五〇〇 〇〇〇〇	何何 月年	何々ニ付建增 舊建坪何坪
同	何々		何造 五	△二〇〇〇〇	△三五〇〇〇 〇〇〇〇	何何 月年	何々ニ付 取毀舊建坪何坪
何府縣郡市區町村 字名番地	何々所		何造 △二	△五〇〇〇〇	△八五〇〇〇 〇〇〇〇 <small>(賣)</small>	何何 月年	何何 月年
同	何々		何造 九	一五〇〇〇〇	二〇〇〇〇 〇〇〇〇	何何 月年	何番地ヨリ移轉又ハ何々 ヨリ組替
同	何々		何造 △二	△二〇〇〇〇	△一五〇〇〇〇 〇〇〇〇	何何 月年	何何 月年
合 計					六、〇七五〇〇〇 一、五〇〇〇〇〇		

備考

右及報告候也
年 月 日
專賣局長官宛
支 部 局 長 印

- 一 營造物ノ欄内ニハ廳舍、收授所、倉庫、上家、橋梁、棧橋、軌道、煙突、(建物ニ附着セサルモ其ノ他建物ニ附屬セサル及其ノ一部ヲ爲ササル築造物ノ類ヲ掲ケ本表ニ例示スル如ク各々其ノ所用ノ名稱ヲ示スヘシ(若シ一種ノ倉庫ニシテ戸前毎ニ所用名稱ノ混ナルモ之ヲ備考ニ示スヘシ)
- 二 附屬物ノ欄内ニハ廳舍及收授所等ニ附屬スル倉庫、物置、門衛所、供待所、小使部屋、靴、便所、廊下、其ノ他門塙、街燈、電線、電話機、電燈、瓦斯燈、避雷針、蒸氣管等ノ類ヲ掲クヘシ

第六號

(用紙美濃十三行野紙)

明治何年度第何期家屋及附屬物増減異動報告

所在地	家屋	付屬物	建物		數量	價格	増減	記事
			種類	番號				
何府縣都市區町村 字名番地	何々官舎	何々	何造	八	二五坪 〇〇〇	八〇〇〇〇〇	何何 月年	何々ニ付新築又ハ買上
△同	何々官舎	何々	△何造	△三	△二〇〇〇〇〇 (△目) (△賣)	一五〇〇〇〇〇	何何 月年	△何々ニ付賣却
△同	何々官舎	何々	何造	五	一三坪 〇〇〇〇	一八〇〇〇〇〇	何何 月年	何々ニ付建増舊建物何坪
△同	何々官舎	何々	何造	七	△一五〇〇〇〇 一七五間 〇〇〇	△一五〇〇〇〇〇	何何 月年	△何々ニ付一部分取毀舊建 坪何坪
△同	何々官舎	何々	何造	七	一七五間 〇〇〇	△一五〇〇〇〇〇	何何 月年	何々ニ付何番地ヨリ移轉 又ハ何々
合計						一八五〇〇〇〇〇 二〇〇〇〇〇〇		

三 營造物及附屬物中ノ建物ハ一棟毎ニ之ヲ掲ケ各々其ノ建物番號ヲ記シ(倉庫ノ如キ別ニ戸治番號ノアルモノハ本表ニ)二階ノ坪數ハ平家坪ノ左側ニ列記スヘシ

四 附屬物ノ價格營造物ノ價格ニ包含スルモノハ記事ノ欄内ニ其ノ事由ヲ摘記シ價格ノ欄ニ一線ヲ施スヘシ

五 數量ハ其ノ物件ノ種類ニ依リ本表ニ例示スル如ク其ノ右傍ニ坪數間等ノ文字ヲ附記スヘシ但シ坪數ハ才位二間數ハ厘位二止ム

六 營造物及附屬物中ノ建物建増ニ係ルモノハ本表ニ例示スル如ク該建物ノ種類、名稱及其ノ番號ヲ示シ記事ノ欄内ニ舊建坪及其ノ事由ヲ掲ケシ其ノ一部ノ取毀チニ係ルモノハ亦之ニ倣フ

七 甲地ニ在ル營造物及附屬物ヲ乙地ニ移轉シ家屋及附屬物ヲ營造物及附屬物ニ組換又ハ營造物及附屬物ヲ家屋及附屬物ニ組換若クハ主タル物件下附屬物下ノ組換ヲ爲シタルトキハ本表ノ例示ニ倣ヒ其ノ組換ヲナスヘシ

八 賣却ニ係ルモノハ本表ニ例示スル如ク(目)(豫)(賣)ノ記號ヲ附シ該日錄價格豫定價格及實際ノ賣拂代價ヲ掲ケヘシ

備考

一 家屋ノ欄内ニハ官舎及住家ノ類ヲ掲ケヘシ

右及報告候也
年月日
專賣局長官宛
支部局長印

第十二章 會計

右及報告候也

年 月 日

專賣局長官宛

支 部 局 長 印

備考

一本表ニ掲クル土地及附屬物其ノ他數量等ハ第四號報告例ノ備考ニ依リ調査スヘシ

第十號 (用紙美濃十三行罫紙)

明治何年三月三十一日現在營造物及附屬物

所 在 地	營 造 物	附 屬 物	建 物		數 量	價 格	年 築	記 事
			構造種類	番號				
何府縣郡市町村字	何々事務所		何造	一	一五坪 二階 七八、〇〇〇	八、五〇〇 〇〇〇	何年	
同	工 場		何造	二	三五〇、〇〇〇	五、二〇〇 〇〇〇	同	
同	倉 庫		何造	三	一五〇、〇〇〇 外庇 一五、〇〇〇	二、七〇〇 〇〇〇	同	
同	何々		何造	一	一、五〇〇 一基	八〇〇 〇〇〇	同	
同	何々		何造	六	一五坪 外庇 五、〇〇〇	一、五〇〇 〇〇〇	同	
同	倉 庫		何造	七	一六、〇〇〇	四〇〇 〇〇〇	同	
同	物 置		何造	七	一六、〇〇〇 一五、〇〇〇	一五〇 〇〇〇	同	
合 計						二〇、五〇〇 〇〇〇	同	

右及報告候也

年 月 日

專賣局長官宛

支 部 局 長 印

備考

一本表ニ掲クル營造物及附屬物ノ種類其ノ他數量等ハ總テ第五號報告例ノ備考ニ依リ調査スヘシ

第十一號 (用紙美濃十三行罫紙)

明治何年三月三十一日現在家屋及附屬物

所在地	家屋	附屬物	建物		數量	價格	年	月	日	支	部	局	長	印	事
			構造種類	番號											
何府縣郡市町村字	官	舍	何造	一	一二〇〇〇〇	九〇〇〇	何	何	何						
	官	舍	何造	二	八〇〇〇〇	七五五〇									
			何造	三	三〇〇〇〇	九〇〇〇									
			何造	四	三〇〇〇〇	三五〇〇									
			何造	五	五〇〇〇	五〇〇〇									
			何	何	一五、五五	一五七〇〇〇									
			何	何	五〇〇〇	四九五〇〇									
			何	何	五〇〇〇	二八八〇〇									
			何	何	二所	三、一九〇八〇〇									
合計															

右及報告候也
年 月 日

專賣局長官宛

支 部 局 長 印

備考

一本表ニ掲クル家屋及附屬物ノ種類其ノ他ノ事項ハ總テ第六號報告例ノ備考ニ依リ調査スヘシ

第十二號 (用紙美濃十三行罫紙)

明治何年三月三十一日現在船舶及附屬物

所在地	種類	長、巾、ノ尺	番號	附屬物	數量	價格	新造又ハ 購入年月	記	事
同	西洋形小艇	幅長 何十何尺	二	器 具	何 點	〇〇〇〇〇〇			
同	日本形ノ小艇	幅長 何十何尺	一	器 具	何 點	〇〇〇〇〇〇		新造又ハ購入	

備考

- 一 建物及其ノ附屬物ノ一部分ヲ賣却セントスルトキハ其ノ圖面ヲ添附スヘシ
- 二 建物及其ノ附屬物ノ現狀(毀損又ハ腐朽等ノ程度)及豫定價格算出ノ根據ハ備考ニ詳記スヘシ
- 三 本調書ハ其ノ取調主任ノ外ハ一切祕密ニ附シ稟申書ニ添附ノ際ハ嚴封ノ上他ニ漏洩ノ虞ナキ様特ニ注意スヘシ

明治四十一年四月ヨリ特別會計ニ移換シ三專賣統一ニ至リタルヲ以テ工事取扱ニ付テハ左ノ取扱方ニ依ルコトトナシタリ

專賣局長官達丙第二二五二號 (明治四十一年三月二十八日)

大藏省所屬工事取扱規程ニ關スル取扱方左ノ通改正ス

大藏省所屬工事取扱規程ニ關スル取扱方

- 一 工事取扱規程ニ依ル部局長ノ事務ハ收納所長製造所長販賣所長及伏見分工場長ニ於テ取扱ヒ其ノ大藏大臣ニ上申スヘキ事項ハ專賣局長官ニ上申スヘシ
 - 二 工事取扱規程第三條ノ書類ハ前々年度十一月三十日迄ニ提出スヘシ但シ施行ヲ要スル見込ノモノナキトキハ其ノ旨同期日ニ申報スヘシ
 - 三 急施ヲ要シ又ハ輕易ナル工事ノ外上申許可ヲ要スルモノハ先以テ工事ノ種類數量單價概算費額等ヲ示セル書類ヲ添ヘ大體ニ就キ本局ニ稟議シ其ノ指示ヲ待ツテ工事取扱規程第四條ノ手續ヲ爲スヘシ
 - 四 工事取扱規程第四條第二項ニ依リ部局長限り施行スルコトヲ得ル工事中一ト口百圓ヲ超ヘサル修繕工事ニシテ模様替ニ屬セサルモノハ收納所長製造所長販賣所長又ハ伏見分工場長限り之ヲ施行シ其ノ他ノ工事ハ總テ上申シテ許可ヲ受クヘシ
 - 五 工事取扱規程第三十六條ノ書類ハ工事竣功後三十日以内ニ提出スヘシ
- 貯藏用建物賃借及物品保管寄託ニ關スル取扱手續モ亦三專賣共ニ之ニ依ルコトトナレリ

專賣局長官達丙第二二六九號（明治四十一年三月二十八日）
 貯藏用建物賃借及物品保管寄託ニ關スル事務取扱手續左ノ通り改正シ明治四十一年度ヨリ施行ス

貯藏用建物賃借及物品保管寄託ニ關スル事務取扱手續

第一條 煙草、鹽、樟腦及樟腦油其ノ他製造用材料品等貯藏ノ爲メ建物ヲ賃借シ又ハ物品ノ保管寄託ヲ爲スニハ事業施設ノ狀況ニ鑑ミ適實ナル計劃ヲ立テ年度内配賦豫算ノ範圍内ニ於テ貯藏物品ノ性質、期間ノ長短、料金ノ多寡、交通取締ノ便否等諸般ノ利害得失ヲ考查シ收納所、製造所、販賣所又ハ伏見分工場ニ於テ之ヲ執行スヘシ但年度内經理上支障ヲ來スノ虞アル場合ニ於テハ豫メ事由ヲ詳具シ本局ニ稟議スヘシ

前項賃借又ハ保管寄託ニ付テハ各實況ニ鑑ミ建物所在地毎ニ左ノ例ニ依リ平均貯藏力及賃借料若ハ保管料ノ最高限度ヲ定メ豫メ本局ノ承認ヲ請クヘシ

貯藏力

平家建	建坪平均一坪當	葉煙草 <small>（刻煙草、卷煙草、粗製煙草、樟腦油、樟腦製品何々）</small>	何程
二階建	同	同	同
三階建	同	同	同

木造、煉瓦造、石造、土造、倉庫、平家建、建坪平均一坪當、何程

賃借料

同	同	二階建	同
同	同上倉庫ニ代用スヘキ建物平家建	三階建	同
同	同	二階建	同
同	同	三階建	同
同	同	二階建	同
同	同	三階建	同

保管料一ヶ月當

葉煙草一貫匁又ハ價格百圓ニ付

刻煙草卷煙草一箱又ハ價格百圓ニ付

鹽何斤入一包又ハ價格百圓ニ付

粗製樟腦樟腦油(樟腦製品)何斤入一個又ハ價格百圓ニ付

何々

何程
何程
何程
何程
同

第二條 前條ニ依リ借庫又ハ保管寄託ヲ爲スニハ成ルヘク左ノ各號ニ該當シ適當ト認ムルモ

ノヲ選擇スルコトニ注意スヘシ

一 建物ノ所在ハ當該官署又ハ工場ニ接近シ運搬及取締上便利ナルコト

二 位置ハ高燥ニシテ濕氣ナク空氣ノ流通宜シキヲ得テ水害等ノ虞ナキコト

三 構造ハ金屬造、石造、煉瓦造、土造、木造ニシテ屋根ハ瓦、鐵板葺等不燃質、窓ハ鐵板、土戸、硝子戸、

等ノ裝置、床張床下四邊風窓ノ設及川砂利ヲ敷詰メ地中ノ蒸發氣ヲ防キ又鹽苦汁排泄ノ

方法等設備完全ナルコト

四 四圍ノ狀況ハ隣接セル建物ナク又ハ建物アルモ耐火構造ニシテ火災延燒ノ虞ナキコト

五 建物ノ周圍牆壁完全ニシテ外襲ノ虞ナク又門前相當ノ餘地ヲ存シ荷物ノ出入及荷造ニ

便利ナルコト

六 保管寄託ニ就テハ受寄者相當ノ資産信用ヲ有シ確實ナルコト

第三條 此手續ニ依リテ作成スヘキ賃借又ハ保管寄託ノ契約書ハ第一號書式ニ準スヘシ

第四條 第一條ニ依リ建物ノ賃借又ハ物品保管寄託ノ契約ヲ締結シタルトキハ第二號書式ノ

報告書ヲ作り第三號書式ノ仕拂豫算所要額調書ヲ添附シ翌月五日限り提出スヘシ其ノ契約

ヲ既定期間内ニ於テ解除シタル場合ハ便宜本報告書中ニ記載報告スヘシ

第五條 保管寄託物品ノ損害賠償額ハ左ノ標準ニ依リ算定スルモノトス

一 損傷及火災ニ因ル滅失ノ場合ニ於ケル受寄者ノ責任ハ徵收葉煙草内地製造煙草樟腦製品及其ノ他ノ物件ニ在リテハ資本價格、收納葉煙草、收納鹽、收納粗製樟腦、樟腦油及輸入煙草、輸入鹽、移入鹽ハ賠償又ハ購買價格トス

二 火災以外ノ原因ニ由ル滅失ノ場合ニ於ケル受寄者ノ責任ハ徵收葉煙草ハ資本價格ノ壹個貳、收納葉煙草及輸入葉煙草ハ賠償又ハ購買價格ノ參個半、收納鹽及輸入、移入鹽ハ賠償又ハ購買價格ノ貳個半、收納粗製樟腦、樟腦油ハ補償價格ノ壹個半、製造煙草ハ元賣捌人及其ノ他(内地特賣)輸出移出ニ對スル賣渡價格、樟腦製品及其ノ他ノ物件ニ在リテハ資本價格ノ壹個半トス

第六條 物品保管寄託ヲ爲スニ方リ價格ニ依リ保管料ヲ仕拂フトキハ其ノ料金算出ノ標準ハ前條第一號ノ標準價格ニ據リテ算定スヘシ

第七條 地方ノ狀況ニ依リ貯藏力不足ノ際ハ收納所、製造所、販賣所等相互間ニ建物ノ臨時融通利用ヲ計リ保管上支障ナキヲ期スヘシ

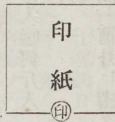
第八條 官有建物ノ新築、補足、模様替又ハ所管換供用等ニ因リ貯藏用建物ニ増減異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度第四號書式ニ依リ報告スヘシ

第九條 毎月末日ニ現在スル物品貯藏ノ狀況ハ第五號書式ニ依リ翌月五日限り調製報告スヘシ

第十條 第一條第二項ニ依ル平均貯藏力及賃借料若ハ保管料ノ最高限度カ此手續施行ノ際既ニ本局ノ承認ヲ請ケタル數量又ハ料率以內ナルトキハ更ニ本局ノ承認ヲ請クルコトヲ要セス

第一號書式甲

賃貸借契約書



何府縣何郡市町村大字何々番地

一建 物(何種) 何棟 何坪

外附屬何々 何程

右建物ハ何々ニシテ別紙繪圖面(調書)ノ通

所有者 何 某

前記建物ニ關シ賃貸借契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 賃貸借期間ハ明治何年何月何日ヨリ同何年何月何日迄トス但借主ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ之ヲ解約シ又ハ滿期後既定ノ賃借料ヲ以テ繼續スルコトヲ得此場合ニ於テハ借主ノ意思表示ヲ以テ直ニ其ノ效力ヲ生ス

第二條 賃借料ハ一箇月金何程トシ日數一箇月ニ滿タサルトキハ日割ヲ以テ計算シ仕拂フモノトス

前項ノ賃借料ハ其ノ月分ヲ翌月十日迄ニ(會計年度末ハ三月三十一日休仕拂フモノトス)但中途解約ノトキハ其ノ解約ノ翌日ヨリ十日以内ニ之ヲ仕拂フモノトス

第三條 貸主ハ借主ニ於テ使用上必要ト認ムル修繕ヲ爲ス義務ヲ負擔ス

貸主ニ於テ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ借主ニ於テ貸主ニ代リ其ノ修繕ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於ケル費用竝ニ不履行ヨリ生シタル損害ハ賃借料ヨリ控除スルコトヲ得

第四條 貸主ハ豫メ借主ニ交渉承諾ヲ經タル後ニアラサレハ賃借物件ノ保存ニ必要ナル行爲ヲナスコトヲ得ス

第五條 借主カ使用上ノ必要ニ由リ其ノ費用ヲ以テ賃借物件ニ變更ヲ加フル場合ニ於テハ貸主ハ其ノ行爲ニ關シ異議ヲ申立テ又ハ賃金増額ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス但其ノ原狀ニ著シキ變更ヲ加フルトキハ貸主ノ承諾ヲ得ルヲ要ス

前項ニ依リ借主ノ加ヘタル變更ニシテ契約終了又ハ解除ノ際原狀ニ回復シ難キカ若クハ回復ニ過分ノ費用ヲ要スル場合ニ於テハ借主ハ其ノ回復ヲ爲サスニテ還付スルコトヲ得

第六條 本契約ノ物件賃貸借期間中貸主ニ於テ第三者ニ讓渡セントスルトキハ豫メ借主ノ承諾ヲ經ヘテ又賃貸借條件ハ之ヲ讓受人ニ繼承セシムヘシ

右契約ノ成立ヲ證スル爲メ本證書二通ヲ作り各自一通ヲ領置ス

年 月 日

借主契約擔任者 何所(場)長 何 某印

何府縣何郡市町村大字何々番地 何 某印

貸主 何 某印

第一號書式乙

保管契約書



第十二章 會計

保管料ノ仕拂期日ハ保管ノ當月分ハ其ノ翌月十日限中途解約ノトキハ其ノ解約ノ翌日ヨリ十日以内トス但年度末ニ限り三月末日(休日ニ當ルトキヲ以テ當月分ノ仕拂期日トス)

第十條 受寄者ノ責ニ歸スヘキ亡失損傷物件ニ對シテハ寄託者ハ其ノ當月分ノ保管料ヲ仕拂ハス

第十一條 前各條ノ行爲ニ付受寄者其ノ責任ヲ盡ササルトキハ保證人之ニ代リ連帶ノ責ニ任ス(本條ハ保證人ヲ)

右契約ヲ證スル爲本證書二通ヲ作り各自一通ヲ領置ス

年 月 日

寄託者契約擔任者

何 所 (場) 長

何

某 印

何府縣何郡市何町村大字何々番地

受寄者何會社々長

何

某 印

又ハ

何

某 印

(保證人ヲ必要トスルトキハ)

何府縣何郡市何町村大字何々番地

保證 人

何

某 印

備考

一 藏置倉庫安全ニシテ火災ノ虞ナシト認ムルトキハ第四條ノ火災ノ原因タル不可抗力ノ場合ノ損害責任事項ヲ除外スルヲ妨ケス

第二號書式甲

(煙草)(鹽)(樟腦)貯藏用建物賃借報告

本所「某出張所、某分工場」

何年何月何日

何 所 (場) 長

所在地	賃借建物番號	種類	構造	建坪	軒柱高	賃借期間	賃借料		所有者又ハ貸主住所氏名	摘要
							月額	金額		
何郡市何町村 大字何々番地							円	円		
、										
、										
、										
計										

備考

- 種類欄ニハ倉庫、家屋、物置等ノ名稱ヲ掲クヘシ
- 構造欄ニハ木造、石造、土造、煉瓦造等ノ區分及平屋、竝二階建、三階建、瓦葺、鐵板葺、木羽葺等ノ區分ヲ明記スヘシ
- 延坪ノ建坪ト異ナルモノハ其ノ延坪ヲ建坪ノ左傍ニ朱記シ又庇廊下等ノ附屬物アルトキハ其ノ種類坪數ヲ摘要欄ニ附記スヘシ
- 建坪中貯藏不適ノモノアルトキハ其ノ事由及坪數ヲ摘要欄ニ附記スヘシ
- 本報告ハ第一條第一項但書ニ依リ豫メ稟議セシモノト雖モ其ノ執行ノ事實ヲ登記スヘシ
- 契約期間中ニ於テ解除シタル場合ノ報告ハ本表各欄ノ事項ヲ朱記シ其ノ解除期日ヲ摘要欄ニ附記スヘシ第二號書式乙亦同シ

第十二章 會計

第二號書式乙

保管寄託報告

本所「某出張所某分工場」

何年何月何日提出

何所(場)長

物件名稱	數量	保管期間 自 年 月 日 至 年 月 日	保管料		受寄者 住所氏名	摘要
			月額 円	單價 円		
葉煙草						
鹽						
粗製樟腦						
樟腦油						
樟腦製品						
何々						
計						

備考

- 一 保管料單價欄ハ一貫匁一斤當一箱當若ハ價格百圓當ヲ記載シ日額ヲ以テスルモノハ其ノ要領及單位ノ稱呼ヲ記載スヘシ
- 二 物品ノ價格ヲ以テ保管料ヲ定ムルモノハ數量ノ下價格ノ欄ヲ設ケ記載スヘシ

第三號書式

仕拂豫算所要額調

何年何月何日

△印ハ朱書

科目	目	仕拂豫算所要額調		豫算殘額 円	新規契約又ハ繼續 ニ對スル所要額 円	差引過不足額 円
		豫算配賦額 円	仕拂濟額 円			
費節途						

第四號書式

貯藏用建物異動報告

本所「某出張所某分工場」

何年何月何日提出

何所(場)長

所在地	建物番號	建物種類	構造	軒柱高 尺 寸 分	建坪	摘要
何郡市何町何番地						

第五號書式

明治何年何月末日物品貯藏狀況報告

備考

- 一 本表増減異動ノ事由ハ摘要欄ニ要領ヲ掲記シ尙建物ノ模様替ニ依リ特ニ貯藏力ヲ増減シタル場合ハ其ノ數量ヲ同欄ニ明記スヘシ
- 二 各欄ニ於テ異動増ニ屬スルモノハ墨書シ減ニ屬スルモノハ朱書スヘシ

何年何月何日提出 何所(場)長

本											所名區分									
官											貯藏用總 坪合									
庫																				
計	其他	機	樟腦製品	樟腦油	粗製樟腦	鹽	ボール函	用包紙裏	亞船箱	木箱	卷煙草	刻煙草	葉煙草	現在貯藏量	所要建坪數	貯藏高ニ對スル過不足坪數	十五現 在數量	本月中ノ實蹟 受入數量 拂出數量	保管寄託 現在數量	翌月分豫定數量 受入 拂出
			何斤入	何斤入	何斤入	何斤入														
		臺	個	個	個	包	個	箱	個	個	箱	箱								

計																				
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

備考

- 一 本表ハ收納所製造所ニ於テハ本所各出張所又ハ各分工場毎ニ區分列記シ計及合計總計ヲ附スヘシ
- 二 本表中品種ハ葉煙草、刻煙草、卷煙草、木箱、亞鉛箱、包裹用紙、ボール函、鹽、粗製樟腦、樟腦油、樟腦製品、機械、其ノ他ニ區分スルモノトス但其ノ他ニ包含スルモノノ中一品目ニ付十坪以上ヲ要スルモノハ其ノ品目毎ニ區分掲記スヘシ
- 三 本月中ノ實蹟欄受拂數量ハ物品出納簿ノ實數ヲ掲記スヘシ(同送中ニ係ルモノヲ扣除ス)
- 四 貯藏用總建坪數欄ニハ貯藏場トシテ使用シ得ヘキ場所ハ凡テ之ヲ掲記スヘシ
- 五 現在貯藏高中ノ物品ハ物品會計官吏ノ當日保管數量ニ符合スヘキモノトス
- 六 貯藏力ニ對スル過、不足坪數アルトキハ相當欄ニ過ハ墨書シ不足ハ朱書スヘシ

特設電話架設後該物件ノ保管轉換ニ關シ豫メ承諾書ヲ要スルモ支部局ニ對スル認可ハ特ニ大臣

ニ經伺セス專賣局長官限之ヲ爲スコトニ明治四十一年十一月認可ヲ經タリ

各鹽務局竝同出張所構内ニ鹽納付及賣渡鹽ノ搬出用トシテ輕便軌道敷設ノ爲官用地使用ノ義出

願ノ向アリ之ヲ敷設スレハ收納鹽及賣渡鹽ノ運搬上時間ト費用トヲ節約シ官民相互ノ利便不尠

ルヲ以テ左ノ條件ヲ附シ長官ニ於テ許可スルコトニ明治四十二年九月認可ヲ經タリ

- 一 使用期間ハ三箇年以内トス
 - 二 軌道敷設ノ爲地形ノ變更ヲ許サス
 - 三 軌道ハ鹽ノ運搬以外ニ使用スルコトヲ得ス
 - 四 軌道使用上ノ總テノ損害及敷地ノ修繕等ハ出願人ノ負擔トス
 - 五 軌道及運搬車ヲ官署ニ於テ使用スルドキハ無償ノコト
 - 六 軌道及其ノ敷地ノ取締ハ官署ノ命スルトコロニ依ルヘシ
 - 七 軌道ハ官署ノ都合ニ依リ何時ニテモ取拂又ハ位置變更ヲ命スヘシ
 - 八 各條件ニ違反シタルトキハ軌道ノ使用ヲ差止ムルコトアルヘシ
 - 九 軌道取拂、移轉、土地復舊工事等ノ費用ハ總テ出願人ノ負擔トス
- 物件賃借及保管寄託事務取扱手續亦左ノ通改正シタリ